

令和6年度水稲奨励品種決定現地調査圃の田植えをしました！

○実施日 5月24日

○場 所 大桑村和村の水田

○内 容

現地で栽培されている既存の水稲品種より、優れた特性の新たな水稲奨励品種を育成するために、県農業試験場内の試験で有望視された系統について、県下10広域の現地で適応性を調査する試験圃場を木曾地域にも設置しました。

今年度は、「あきたこまち」級の早生で、高温登熟耐性や割れ粳が発生し難く斑点米カメムシ類の被害の軽減が期待される2系統と、国の研究機関が育成した「コシヒカリ」よりやや晩生で、大粒で高温登熟耐性のある多収性の良食味品種「にじのきらめき」の現地適応性を調査します。

また、木曾農業農村支援センターで現地への導入を進めている、酒米についても展示区を設置しました。

本試験圃場が現地で求められる、より良い水稲品種を排出する拠点圃場となることを期待しています。



写真：水稲奨励品種決定現地調査圃の田植え風景